

# ROCKYバルブの設計基準

主要なROCKYバルブは、ANSI/ASME B16.34の圧力-温度基準に準拠して設計されております。また、材料や構造などにつきましては、JISやANSI/ASME等の各規格を適宜適用し、タイヤ加硫機に使われるバルブとしての仕様を満足しております。(以下、ANSI/ASMEはASMEと省略し表記します)

クラス	ASME Class 300
温度-圧力基準	ASME B 16.34 <sup>※1</sup>
面間寸法	ROCKY-ICHIMARU 標準
管接続部	ねじ JIS B 0203、ISO 7-1 JIS B 0202、ISO 228-1 <sup>※2</sup> ASME B 1.20.1
	フランジ JIS B 2220 ASME B 16.5 EN 1092-1、ISO 7005-1
肉厚	ASME B 16.34
試験検査	ROCKY-ICHIMARU 標準 <sup>※3</sup>

※1:バルブの使用圧力と使用温度の範囲は圧力-温度基準と呼ばれ、基本的には呼び圧力(クラス)とボディ材料ごとに定められているボディレーティングと、シート材料ごとのシートレーティングの両方を満たす範囲となります。ボディレーティングは、バルブボディに用いられる材料ごとに設けられており、バルブの温度と使用できる最高許容圧力の関係を表したものです(ASME B 16.34)。また、シートレーティングは、バルブのシート材料の許容圧力-温度範囲を表しています。バルブの構造上呼び圧力(クラス)と最高使用圧力とは異なりますので、各バルブの最高使用温度と最高使用圧力は、個別のバルブの仕様を必ず確認して下さい。(図1)

※2:操作エアポートのみ

※3:ROCKYバルブは、全数下記検査を行っています。

- ・気密検査
- ・弁座漏れ検査
- ・外観検査
- ・作動検査

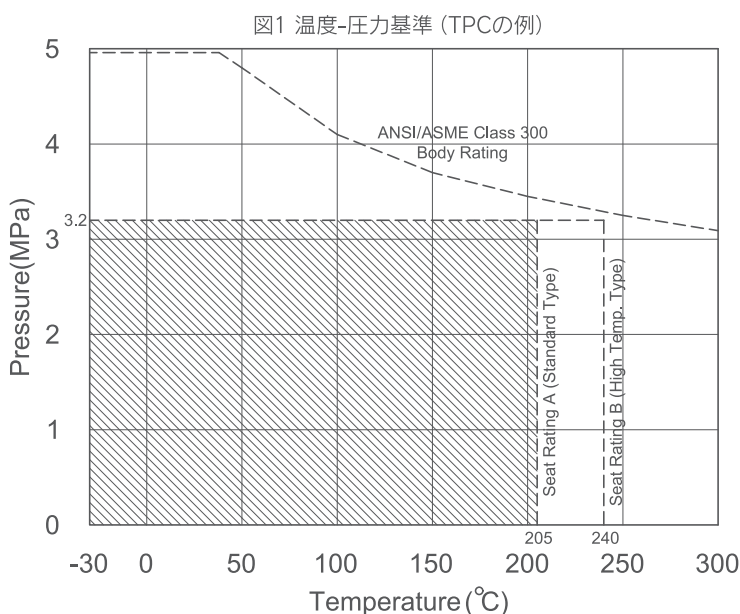


写真3 バルブ検査作業